

人権・平和・環境

あしだかわ

発行

南部生涯学習センター
 福山市沼隈町草深 1889 番地 6
 (沼隈支所3階)
 TEL 980-7713
 FAX 987-2382

E-mail: nanbu-syougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市ホームページ (URL:<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>) から「あしだかわ」で検索!

うつみは「むつみ」の島

内海町は、まるでタイとヒラメのカップルがキスをしているような形をしています。そして、キスの場所には「睦橋(むつみばし)」という名の橋がかかっています。

サンセットの美しい丘やドライブが楽しめる海岸道路のある島。そんなステキな「うつみ」で、Love Song コンサートを開きます。

入場無料

「いいふうふの日」記念

うつみ de むつみの



「言いそびれた ありがとう」展 作品募集

大切な人に言いそびれた「ありがとう」を形にしてみませんか。コンサート当日、会場内に展示します。表現方法、大きさ、文字数など形式は問いません。匿名をご希望の方はお知らせください。心温まる作品をお待ちしています。

＜応募方法＞

●メールか手紙でご応募ください。

E-mail
 nanbu-shougai-gakushuu



@city.fukuyama.hiroshima.jp

〒720-0392

福山市沼隈町大字草深 1889 番地 6
 南部生涯学習センター

●お問い合わせ TEL 084 - 980 - 7713

出演

Ryo-hey (りょうへい)

シンガー、ギタリスト、ソングライター。ギタリストとして DA PUMP など多数のレコーディング・ライブに参加する。ソロアルバムが大手音楽系 サイト My Space の Surf 部門で最高 2 位を獲得。東日本大震災後、東京から福山に移住。バンド ORGADDIM (オルガディム) も始動。中国地方から世界に発信するべく精力的に活動中。



サンパルオーケストラ 木管五重奏

MocGyo (もくぎょ)

2011 年初夏、沼隈を拠点として活動するサンパルオーケストラの有志で結成。フルート:三阪美紀 オーボエ:今川真由美 クラリネット:松山美保子 ホルン:松井正信 ファゴット:神原安利。お笑いのアンサンブルは完璧です。クラシック、アニメ、童謡など幅広いレパートリーをもち活動中。



11月17日(土) 開場 14:00
 開演 14:30
うつみ市民交流センター

主催 南部生涯学習センター



しかくしょう とう りゆう ひと えいりもくてき のぞ ろくおん てんじ かくたい みと
 視覚障がい等の理由がある人のために、営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。



南部こんなんやるday



南部管内の講座のご案内です。 みなさま どうぞ ご参加ください。

鞆公民館

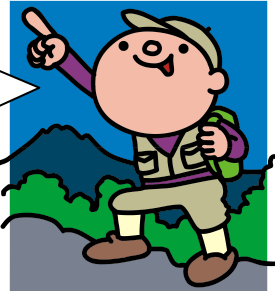
TEL : 982-2664

登り窯を見に行こう！

と き 11月23日(金) 9:30~
ところ 鞆の津ふれあいサロン(旧平保育所) 集合
講 師 鈴木 重治さん(東洋陶磁器学会 常任理事)
持参物 お茶, タオル, 歩きやすい服等

※雨天の場合は、鞆の津ふれあいサロンで学習します。
※定員はありませんが、人数把握のため申込み下さい。

秋風が心地よい季節になりました。皿山まで歩いての登り窯を見に行きませんか。いつもと違った景色を眺めてリフレッシュしましょう。



沼隈図書館

TEL : 987-0313

ブックトーク

「こんな本、読んでみない？」

～冬の巻～

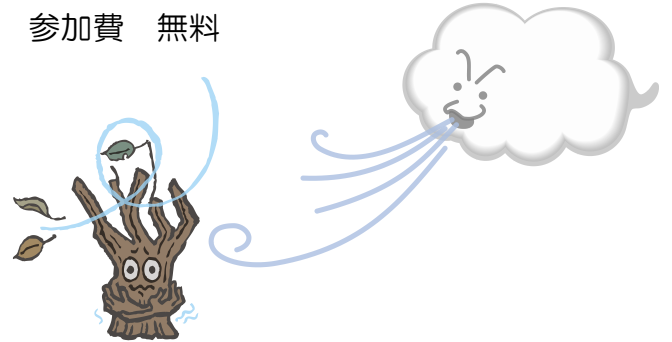
と き 11月24日(土)
11:00~11:30

ところ 沼隈図書館

内 容 冬をテーマにした、ブックトーク

対 象 小学校低学年向け

参加費 無料



南部生涯学習センター TEL:980-7713

山本瀧之助に学ぶ

書道・絵手紙作品展

山本瀧之助が残した言葉をテーマに、小学校・中学校・高等学校などからご応募いただいた書道の作品を展示します。また、市民のみなさまからご応募いただいた絵手紙の作品を展示します。どうぞご覧ください。

展示期間 11月8日(木)~19日(月)

ところ 沼隈図書館(沼隈交流館)

2階 市民ギャラリー

主 催 山本瀧之助に学ぶ会実行委員会

後 援 福山市 福山市教育委員会

※この事業は福山市キーワードモデル事業の助成を受けています。



おとぎそうし ~トーク&LIVE~ ~未来に伝えたい 大切なこと~

10月19日（金）高島公民館で、おとぎそうしのトーク&ライブを実施しました。おとぎそうしは、尾道市在住の竹本信也さん、倉光宏嘉さんによるフォークデュオです。

なつかしい『神田川』のカバーからはじまり、反核を謳った『にんげんをかえせ』の演奏、また、歌の合間には福島第一原発事故についての話など、核の恐ろしさ、平和の大切さについてトークがありました。おとぎそうしのお二人の熱い想いに感動し、私たちが、未来に平和の大切さを伝えていかないといけないと強く感じるトーク&ライブでした。



青年の父

やまもとたきのすけ あしあと たす

山本瀧之助の足跡を訪ねて

【16】月刊雑誌『良民』

1909年（明治42年）の『地方青年団体』の発刊、1910年（明治43年）全国青年大会で瀧之助の功績を紹介されたことなどを通じて、青年指導者の名は、全国で知られるようになった。

折しも、1910年11月、東京で開かれた第3回感化救済事業講習会いのうえゆういちに出席した瀧之助に、井上友一ほうとくかい参事官から中央報徳会が発刊を計画している『青年斯民』しの創刊号の原稿を書くよう依頼された。ところが、原稿が出来上がった時、突然、発刊が中止されたことを知らされた。せっかくの原稿を没にするわけにいかず、以前『地方青年団体』の出版に関わった、今津出らくようどう身の洛陽堂主人河本亀之助こうもとかめのみすけに相談したところ、雑誌名を『良民』とし、出版することを引き受けてくれた。

当時、地方に住む青年たちが読む雑誌があまりにも少なかったため、地方青年団体のための月刊誌『良民』は、多くの人々に読まれた。1911年（明治44年）から約9年間、瀧之助が編集を一手に引き受けて発刊した。この雑誌には、冒頭に「実行」という欄を設け、瀧之助の考えを毎月書いた。青年論を完成しつつあったこの時期に主張を発表する場を持っていたことは、青年団体への指導法を築き上げるのに大きな力となった。



河本亀之助の出版社は、『一日一善』『模範日』『早起』『団体訓練』などの瀧之助の本を次々と発行し、『良民』で紹介した。『良民』は、1919年（大正8年）12月号で廃刊となるが、これは河本亀之助が社長を退いたことによる。なお、『良民』には、初めたけひさゆめじの2年間、当時無名であった竹久夢二のさし絵が使われているが、これは河本亀之助が依頼して書かせたことによる。

執筆：上田 靖士（山本瀧之助研究会）

ポ～ノさんのささやき

11月23日は「勤労感謝の日」です。勤労感謝の日の起源はなんと、飛鳥時代といわれています。勤労感謝の日と呼ばれるようになる前は「新嘗祭（にいなめさい）」と呼ばれる収穫祭でした。秋に取れる作物は、次の秋までの1年間分の貴重な食料になるので、収穫を祝い、感謝する重要なお祭りだったそうです。

現在では、農業以外にもさまざまな産業があります。互いに日ごろの労働を感謝し合う大切な日が「勤労感謝の日」です。ただの「お休み」ではなく、祝日の意義について考えてみるのもいいのではないのでしょうか。



人まちふくしフェスタ 2012

@うつみ・ぬまくま



屋内ステージ《サンパルホール》

開演 9時30分～ (開場 9時)

- ◆ オープニング
- ◆ 開会行事
- ◆ トーク&ライブショー
森本ケンタさん (シンガーソングライター)
- ◆ はね踊り〔山南小学校〕
- ◆ 絵本読み聞かせ〔沼隈図書館〕

参加無料

*ステージ終了後、先着300名様にばら苗プレゼント!

屋外ステージ・バザール《沼隈支所駐車場》

- ステージ ■ 12時～
 - トランペット鼓笛隊 (常石小学校)
 - 紙芝居「ローズちゃんのかじのもと み〜つけた」
 - ドラム演奏 ○ジャザサイズ
 - 健康体操 ○日本語学校学生によるスピーチ
 - 書道パフォーマンス
- バザール ■ 10時～
 - おいしい食べ物やゲームなど、楽しいコーナーが沢山あるよ! みんな来てね!

- サンパル和室 ■ ○おもちゃサロン
- サンパルロビー ■ ○地域福祉活動展
- 試食コーナー ○こんにちは赤ちゃん訪問事業

《沼隈福祉会館》

- 心配ごと・行政相談室 ○車イス体験コーナー
- 高齢者擬似体験コーナー

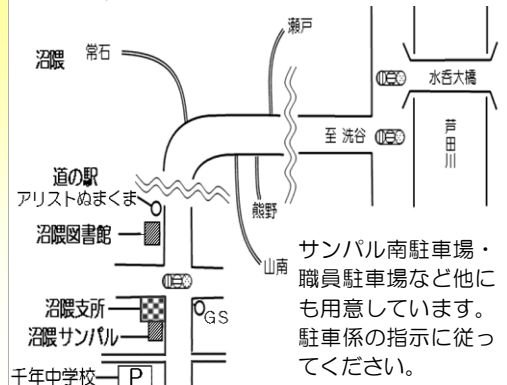
とき

11月11日(日)
9時30分～15時

ところ

沼隈サンパル・沼隈福祉会館・沼隈支所駐車場

駐車場は、千年中学校グラウンドをご利用ください。
おもいやり駐車場は、沼隈支所正面玄関前に用意してあります。



主催 人・まち・ふくしフェスタ2012@うつみ・ぬまくま実行委員会

事務局：常石公民館 電話084-987-3839